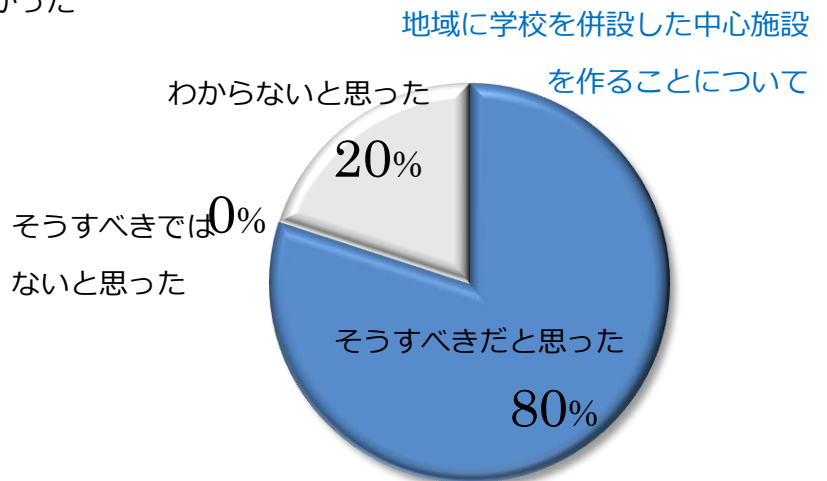
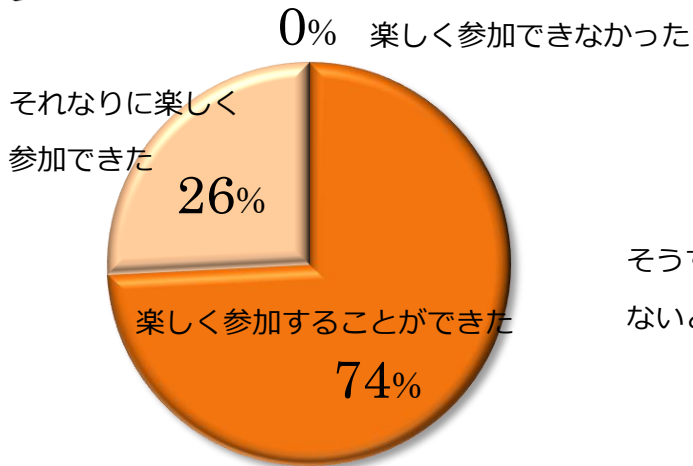




市民ワークショップに参加した率直な感想をお聞かせください。



地域に学校を併設した中心施設を作るということについて、率直な感想をお聞かせください。



「学校」は基本徒歩圏内に在るので「誰でも歩いて行ける」施設になると思います。



子供たちにとっても地域にとってもメリットは大きいとは思いますが、セキュリティの面から子供達の安全をどう確保するかという問題を解決しないといけない。



学校の空き教室を使うとかできると思うけれど、学生の荷物などに気を配る必要がある。



効率的でよいと思います。できるだけ多くの機能(学校教育、社会教育、コミュニティ、保育、高齢者福祉、健康)をもたせた方がよいと思います。(効率と両立する範囲内で)



ただ単に「学校」という機能ではなく「新しい価値観の何か」の中に学校機能を持つ。



地域の中心施設についてアイデアなどあればお聞かせください。 (こんな場所がいい、こんな風に使ったら楽しい など)



おしゃべりしながらお茶を飲んで長居できる場所があったらいい。



学童などに老人を招いて一緒に昔の遊びを教えてあげたり、子供がわからない勉強のところがあったら教えるなどができるのでは。



ふれ愛センター、陽だまりサロンは有難いです。お一人暮らしの方のために、町経営の昼食、夕食のとれる場所があるといいですね。もちろん有料で。



住んで長い時間をすごすのは、子供と年輩者です。先輩の方が健康で楽しく過ごしていれば、子供たちも一緒にいられるし、大人になっても「ここなら楽しく暮らせる」とイメージできて戻ってくるのではないのでしょうか。それには参加型、自分たちが主体で楽しくできるものがよいです。



調理室や木工室など地域の方も使える様に学校に施設を併設というより、施設に学校を併設。



老人と子供と一緒に居れる場所、同じフロアで学童保育、老人趣味の集い、そして時々老人が子供に遊び方を教える。